

平成30年度第2回千葉競輪場開催業務等包括委託審査委員会議事録

1 日 時 平成31年3月27日（水）午後2時30分～午後3時30分

2 場 所 千葉競輪場メインスタンド4階 来賓質2・3

3 出席者 (委員)
篠崎委員長、藤本委員、高岡委員、山本委員
(事務局)
鴻崎所長、布施所長補佐、森主査、蛭田
(日本写真判定株式会社)
浅岡次長、邊田所長、中嶋所長代理

4 議 題

- (1) 包括業務委託の進捗状況モニタリング
- (2) その他

5 議事の概要

- (1) 報告事項及び質疑応答

平成30年11月から平成31年3月までの包括業務委託の進捗状況について、受託業者から報告がなされ、それに対し概ね良好な業務遂行である旨の評価が、委託者側から示された。

- (2) 進捗状況の内容に関連する質疑応答がなされた。

6 会議経過

■進行（篠崎委員長）

お忙しい中、関係者の皆様ご出席いただきありがとうございます。それではお手元の次第に沿いまして進めさせていただきます。議題（1）の包括業務委託の進捗状況モニタリングについてですが、これは配布資料に沿って日本写真判定さんに説明をお願いします。その後、千葉市から検査結果の報告をしていただき、質疑応答という流れで進めたいと思います。それでは日本写真判定さんお願いいたします。

■受託者（日本写真判定千葉事業所 邊田所長）

平成30年11月から平成31年3月までの進捗状況及び年間の開催結果について報告

■進行（篠崎委員長）

ありがとうございました。それでは、事務局の方から検査結果についてお願いします。

■事務局（千葉市公営事業事務所 布施補佐）

報告させていただきます。受託者から提出のありました開催事業実施計画に基づき、計画どおり事業を実施しているかにつきまして、開催ごとに実施報告書により検査をおこなっております。今回のモニタリング対象になります11月以降3月までに行われた市営競輪開催業務の第5回、第6回の市営競輪開催につきましては、概ね目標数値に達しており、良好な結果を遂行しているものと評価しております。年間トータルでは、目標に達していない部分もありますが、総合的に概ね良好な業務遂行と評価しております。以上です。

■進行（篠崎委員長）

ありがとうございました。以上で、議題1についての説明が終わりました。つづきまして、議題1につきまして委員の皆様から何かご質問がございましたら挙手をお願いします。

●質疑1（審査委員 高岡委員）

11ページの資料で、借上開催の売上と来場者数の集計についてですが、借上開催場の年間売上合計が目標額の94.45%と、目標を下回ったため、次年度以降の課題として来場者数を上げるということですが、借上げ開催場の来場者数は決して悪くなく年間合計で目標数の141.02%で、第1回に至っては236.18%と目標を大幅に上回っているのに、売上が目標の84.60%となっています。来場者は集まっているのに、売上が少ないということはどういうふうに捉えれば良いのですか。

▼応答1（日本写真判定千葉事業所 邊田）

開催売上は、その開催場の売上と受託場外発売とインターネット発売というものが合わさって総売上になりますが、売上の割合は本場が10%くらいで、受託場外発売が40%、残りがインターネット発売となっています。したがって、売上割合からすると、借上開催場の来場者数が多いことが、必ずしも売上のアップに繋がらないこととなります。それでも、来場者を増やすことにより本場の売上を上げ、結果的に総売上を伸ばしていければと考えております。また、今後、250mバンクを運営させていただくに当たって、既存のお客様から「千葉はいいぞ」という口コミを広げて行きたいとも思っておりますので、今後は、先程申しましたように来場者数をもっと増やすことを目標に挙げさせていただきました。

▼応答1（千葉市公営事業事務所 鴻崎所長）

第1回川崎開催において、借上場における来場者数の目標達成率236.18%というのはちょっと異常でして、理由としてG1レースであるオールスター競輪が丁度同日にあり、それにつられて、うちの開催に来場されたということが考えられます。また、松戸にしても川崎にしても来場者数が普段から多い所ということも併せて、目標達成率236.18%に繋がったと考えております。

●質疑2（審査委員 高岡委員）

何れにしても、来場者が多いという結果が、売上につながっていないというのであれば、目標の設定についても、そういった点を考慮して設定していく方がより良いと思います。

▼応答2（日本写真判定千葉事業所 邊田）

ご指摘いただいた方向性で目標を設定させていただきたいと思いますが、ただ借上競輪場の売上希望数値もありますので、それらも考慮して設定してゆきたいと考えております。

●質疑3（審査委員 高岡委員）

ちょっと似ていますが、5ページの包括場の場外売上について、11月以降の平均値が、前年比100.07%に対し、発売場数は前年比162.57%となっている。次ページの4月から3月までの年間平均を見ると、発売場数が前年比150.98%に対し、売上は前年比103.32%、随分バランスに開きがあると思いますが、これはどうですか。

▼応答3（日本写真判定千葉事業所 邊田）

お客様の車券購入場の選択肢を増やすことにより売上向上を計るべく8月から3場併売を開始したわけですが、発売場数の増加が、包括場の来場者の増加にそれほど影響していないことが原因ではないかと思っております。しかしながら、発売場数に関しましては半年毎に全ての日程を作ってしまうので、次年度はこれを教訓にして、お客様が何を求めているのかを考え、来場者数をもっと増やせるような方法を取らなければならないと思っております。

●質疑4（篠崎委員長）

場外発売の体質で、発売場数を増やせば売上が上がるという単純なものではないということですね。発売場数を増やしたことが、売上に即結びつかなかったけれども、お客様サービスという面では、選択肢を増やし、結果としては、お客様が他に逃げずに残ってくれたという解釈の仕方がある。その一方で、せっかく増やしたのだからこれで良いのかという両方の見方ができると思いますが。

▼応答4（日本写真判定千葉事業所 邊田）

おっしゃる通りだと思います。それを今後、どのように反映して行くかがとても重要な所と思っております。ただ、3場併売をやらなかったらもっと売上は下がっていると思っております。

●質疑5（篠崎委員長）

来場者数を増やして行くということによって、売上は伸びて行くだろうということはある程度予想はつくと思います。ただ、発売場数を倍に増やしたからといって、売上が倍になるということはなくとも、来場者の増を、どう売り上げに繋げていくかだと思います。もう一つ、11ページの説明の中で、売上増のため今後、来場者数を増やして行くとおつ

しゃられたと思いますが、その一方、全国的に売上好調なのはインターネットだとか、ミッドナイトだとかそういう話もありました。そうすると、来場者数を増やしていくという方向性がピンボケになっているということを高岡委員は心配しているのではないかと思います。そのことを考慮して今後の方向性を示していただければと思います。

▼応答5（千葉市公営事業事務所 鴻崎所長）

因みに、競輪界全体の売上は昨年より上回っていますが、来場者数については平成20年度からずっと、減少している状況です。先程インターネット投票のお話をさせていただきましたが、ミッドナイト競輪は実は無観客でやっておりまして、完全に来場者がゼロという状況でやって売上が伸びているということになりますので、売上と来場者の比率が連動するかどうかは、難しい問題です。

●質疑6（審査委員 高岡委員）

現実問題として、事業者さんにできることは、この包括場の中でどう勝負していくかということであり、何ができるかといったら、やはり来場者を増やすことだと思います。

▼応答6（千葉市公営事業事務所 鴻崎所長）

そういった意味では、事業者には、借上開催時に、売上増のためキャッシュバックキャンペーンなどのお客サービスをやっていただいております。また、現状、場外発売が落ちているので、うちとしては将来に向けて来場者数をもうちょっと増やす方向を考えていただきたいというのが所長としての考えでございます。

●質疑7（審査委員 高岡委員）

3場併売できるようにしたというのは、肝いりのプロジェクトだったわけじゃないですか。

▼応答7（千葉市公営事業事務所 鴻崎所長）

そうですね、全国でもサテライトですと3場併売、4場併売が一般的で、中には8場併売できる民間車券場もございますが、競輪場としては多分うちが最初ではないかと思います。

●質疑8（審査委員 高岡委員）

そうですね、やはり相当コストをかけたと思うので、もう少しもうけられたかなと思いますが。

▼応答8（千葉市公営事業事務所 鴻崎所長）

他の競輪場との意見交換において、千葉が3場併売にしたことをうけて、幾つかの競輪場が3場併売にしようかという考え方を持ってきているのは、聞いています。ただ売上に連動するかといえば、一人あたりのお客の資金は変わらないので、やっぱり母体である入場者数を増やすことを、考えて行かなければならないと思っています。

●質疑 9（審査委員 高岡委員）

3 場併売ができるようになったということは、お客さんにちゃんと浸透しているのでしょうか。

▼応答 9（日本写真判定千葉事業所 邊田）

はい、おっしゃる通りで、周知不足が招いた結果とも思っております。千葉競輪場のホームページやツイッターを利用して周知してきましたが、その他、外部の手段を使つての周知をあまりしてこなかったのも、そこは次年度、改めて一からやり直す必要があると思っております。

●質疑 10（篠崎委員長）

正しい狙いが付きますように、宜しく願いいたします。それと、5 ページのロイヤルルームの利用者数の対前年比率がすごくアップしていますが、何かされたのですか。

▼応答 10（日本写真判定千葉事業所 邊田）

有料席、特にロイヤルルームのお客様に関しては、一般のお客様と違って使うお金の額が高額となりますので、特化したイベントを実施しています。イベントの内容として、お誕生日に、次回のロイヤルルーム無料券を進呈したり、クリスマスにはケーキを差上げるとか、そういったことを実施しています。また、ロイヤルルームのお客様がお友達を連れてきていただくと、ご紹介いただいたロイヤルルームの会員様には無料券を渡すなどしております。このようにロイヤルルームの利用客の輪を広げて行く施策を今年度は集中的に行ったことがこのような結果となっております。ただし、ロイヤルルームは数が最高でも 37 名しか入れないキャパですので、その範囲でできることを行い、ロイヤルルーム向けにやった向上策をより精査して一般のお客様に反映して行こうと考えております。

●質疑 10（篠崎委員長）

是非、一般の来場者の増に結びつくようにお願いしたいと思います。

●質疑 11（藤崎委員）

すいません。5 ページ、6 ページで、チャリロトプラザの売上がありますが、このチャリロトプラザの売上というのは、場外売上の中に含まれているのでしょうか。

▼応答 11（千葉市公営事業事務所 鴻崎所長）

お答えさせていただきます。こちらは民間ポータルサイトという、サテライト的な売上になります。サテライト的なものですから、全体の合計の売上には入ってきますが、これが全部うちの売上に入るわけではありません。

●質疑 11（藤崎委員）

そうですか、手数料を引いた分が入ってくるとか。

▼応答 1 1（千葉市公営事業事務所 鴻崎所長）

売上の 2 %程がうちの収益になっております。

●質疑 1 2（藤崎委員）

そうすると、売上というよりも、チャリロトプラザを設置したことによって来場者が増える。そういった観点ですか。

▼応答 1 2（千葉市公営事業事務所 鴻崎所長）

そうですね、これは包括業務ではございません。こちらはチャリロトと市の契約でして、ただ、運営上の施設管理は日本写真判定にお願いしています。ですから、日本写真判定さんには一切手数料が入らず、あくまでも市の方に 2 %入ることになります。

▼応答 1 2（日本写真判定千葉事業所 邊田）

チャリロトプラザのメリットとして、非開催日に運営していただけるというのがあります。通常非開催日は私どもは運営しませんが、チャリロトさんはそういう時でも運営しており、少なからず千葉市の場外売上に貢献していただいているので、かなりメリットがある。あと、当日の発売されている全場、発売されておりますので、それもお客様にとってのサービス向上になっているのではないかと思います。

▼応答 1 2（千葉市公営事業事務所 鴻崎所長）

全国で多い時で同日に 6 場くらい全国で競輪開催しておりますので、そういったものが、全部買えるというのがチャリロトプラザのメリットでございます。

●質疑 1 3（篠崎委員長）

データーはないと思いますので、印象で結構ですが、チャリロト会員というのは、結構若い方が多いのですか。

▼応答 1 3（日本写真判定千葉事業所 邊田）

チャリロトさんに、確認したことがあるのですが、平均年齢が 6 0 歳だったと聞いております。6 0 歳ですと、実際に競輪場に来られるお客様よりだいぶ若いといえます。

●質疑 1 4（篠崎委員長）

的外れな質問ですけれども、3 ページの一番下にある夢福餅、これは、この場の位置付けに絡んでいる製品ですか、夢福餅というから関連があるのかなと思ったので聞いてみました。

▼応答 1 4（日本写真判定千葉事業所 邊田）

実は、ご協力いただいているケータリング会社の方が、夢福餅をいう既製品を見つけました。「夢」というネーミングがよかったので、購入させていただき、プレゼントさせていただいたということで、決して私どものオリジナルの商品ではございません

。

●質疑１５（篠崎委員長）

そうですか、日本写真判定さんが独自に作ったのかと思いました。

▼応答１５（日本写真判定千葉事業所 邊田）

既製品を使わせていただきました。

●質疑１６（篠崎委員長）

あと、４ページにコンシェルジュの話がありますけれども、これは初めての試みですか。

▼応答１６（日本写真判定千葉事業所 中嶋）

うちが包括に入る前に何十年も前に、制服を着てスタッフの方がやったことがあるというお話しは伺っていますが、包括場になってからは、初心者ブースの設置や、初心者体験ツアーをやっていましたが、コンシェルジュはやっていません。

●質疑１７（篠崎委員長）

日本写真判定さんとしてこうゆうことはやっていなかったということですか。

▼応答１７（日本写真判定千葉事業所 邊田）

そうですね、今回のこの企画は、私どもよりも古くから千葉競輪場に勤めているエリア社員からの提案で、昔こうゆうのがあったよ、こういうのを復活させましょうという案を形にしたものになります。

●質疑１８（篠崎委員長）

分かりました。８ページの借上場開催の広告掲載について、借上場は包括場と違うエリアにありますので、こうゆう媒体の選び方とか力の入れ方とか何か工夫はあるのですか。

▼応答１８（日本写真判定千葉事業所 邊田）

業務委託先の業者と色々と調整させていただいて、ベストな媒体を選んでいきます。

●質疑１９（篠崎委員長）

これは、千葉市さんと日本写真判定さんの両方にお聞きしますが、５ページの包括場の来場者数、これが２月・３月で減ってきた原因として解体作業に伴う第５駐車場の閉鎖があると思いますが、そこには何台くらい入るのですか。それと工事の進捗状況によって、それに代わるものを考えているのかどうか。

▼応答１９（日本写真判定千葉事業所 邊田）

先ず台数に関しては約７０台となっております。解体が、どのように進むかというのは今後、千葉市の方と相談して決めて行かなければいけないことかなと思っております。

▼応答１９（千葉市公営事業事務所 鴻崎所長）

第５駐車場を潰して、そこから、工事車両に一旦入ってもらって解体の運搬をするとい

うことでやっていますので、バンク内に工事車両が入るようになれば、ある程度確保できるかなと思いますが、これから10トントラックとか大型車両が、これからどんどん入って来ますので、しばらくは、第5駐車場はそのまま工事関係車両の出入り口になってくると思います。

●質疑19（篠崎委員長）

分かりました。

■進行（篠崎委員長）

はい、では議題1については皆様ご意見がでたようですので終了させていただきたいと思います。

●質疑20（藤崎委員）

今後の工事スケジュール等について伺いたいと思います。

▼応答20（千葉市公営事業事務所 鴻崎所長）

解体に関しましては、今年の10月末までに施設を解体するというスケジュールになっております。それに併せて、壊した所から新しい施設の整備関係が進んでいくということになっております。当初は、2020年の秋頃の完成を目指していましたが、現状では2020年の11月までに施設を完成していただいて2020年の12月には250競輪の開催ができればとの計画で進めている状況です。

■進行（篠崎委員長）

わかりました。では、その他なにかございましたら、どうでしょうか。よろしいでしょうか。それでは以上をもちまして閉会とさせていただきます。ありがとうございました。